



青山神明遺跡 発掘だより 18号

令和 8 年 8 月 5 日



26Eb 区位置図



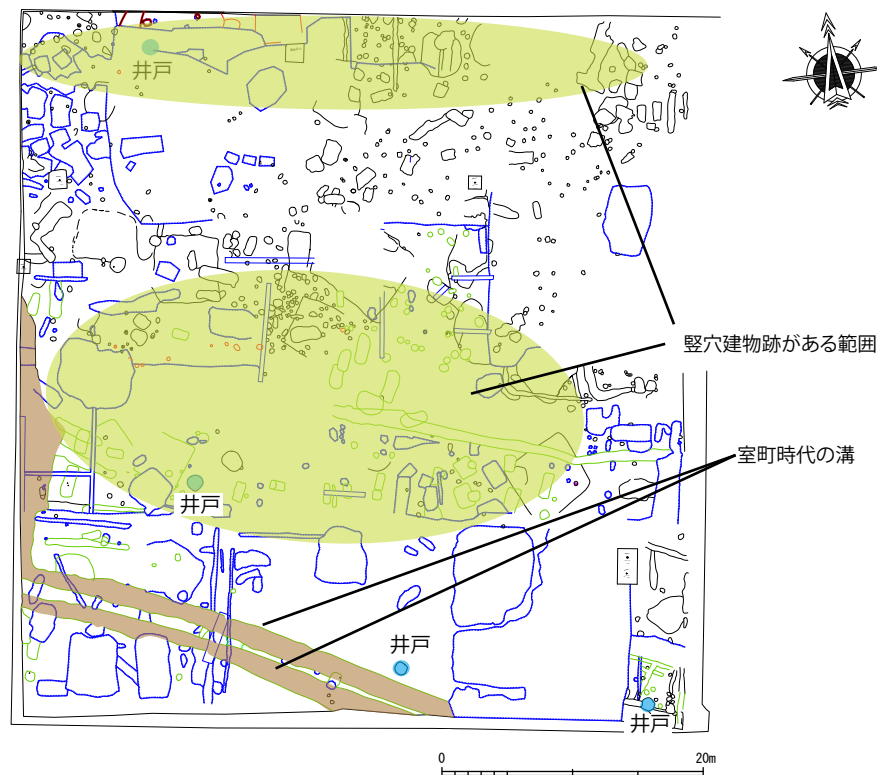
平行して2本続く鎌倉時代から室町時代の溝



鎌倉時代の井戸遺物出土状況



古墳時代の竪穴建物跡検出状況



26Eb 区調査区平面図

★地元説明会のお知らせ★

日時 8月22日（土）午前10時～

場所 青山神明遺跡26Eb 区（右上地図参照）

お問い合わせ先 調査課 早野 080-1571-4991

※当日は、暑いのでお飲み物をご持参いただくなど
熱中症対策をして、また足元が悪いので履きなれた
靴でお越しください。

担当 早野 梶田

◆ 26Eb 区の地元説明会を開催します

6月から調査を始めた26Eb区では、南側では鎌倉時代から室町時代にかけての溝と井戸が、中央付近では古墳時代の竪穴建物跡や柱穴などが見つかりました。

溝は、平行して2本続くことが確認されており、現在の地割とは異なっています。溝からは、鎌倉時代の山茶碗や室町時代の皿などが出土しています。26Ea区の調査で検出された室町時代の溝と同様に水路の役割を果たしていたと推測されます。

井戸は、4基見つかりました。井戸の深さは、調査の終盤に確認をしますが、これまでと同様に1m以上あると考えています。

井戸の中からは、鎌倉時代の山茶碗が出土しています。

竪穴建物跡は数棟見つかりました。規模は、いずれも約4m×5mの隅丸方形です。竪穴建物跡からは古墳時代（約1500年前）の須恵器杯蓋などが見つかりました。

当日は、26Eb区の竪穴建物跡などの遺構の見学と遺物展示のほか、隣接する26Ea区の一部の遺構、遺物も一緒に紹介する予定です。当日の説明会をお楽しみください。皆様のご来場をお待ちしております。